

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： AI と人の相互作用による技術哲学の創出

2. 個人研究者名

中尾 悠里（富士通（株）富士通研究所 研究員）

3. 事後評価結果

人と人工知能技術の間の相互作用に着目し、人工知能を技術単体として捉える AI 倫理などの既存のアプローチに対して、人に与える変化や人を踏まえた技術の進展という側面から技術哲学を発展させることを目指した非常に野心的な研究課題に取り組んだ。ワークショップを循環的に設計、観察、精査し、事例研究を通して理論構築を目指しながら、Reflexive CoDesign と呼ぶ研究手法を確立したことは高く評価できる。研究期間中に論文発表は行えなかったものの、学際領域に位置する当該研究課題のような研究では難しい側面があることは理解できる。当該研究者が、近い将来、人と技術の相互作用を視座とする技術哲学という新たな分野を確立することを担う人材となることが期待される。